

平成 16 年 10 月 6 日

各 位

会 社 名 富士レピオ株式会社
代 表 者 名 代表取締役社長 鈴木 博正
コ ー ド 番 号 4 5 4 4 東 証 第 1 部
問 合 せ 先 企画推進部 IR・広報推進チーム
電 話 番 号 0 3 - 5 6 9 5 - 9 2 6 8

会 社 名 カルナバイオサイエンス株式会社
代 表 者 名 代表取締役社長 吉野 公一郎
問 合 せ 先 経 営 企 画 担 当
電 話 番 号 0 7 8 - 3 0 2 - 7 0 3 9

キナーゼに関する共同開発契約締結のお知らせ

富士レピオ株式会社(本社:東京都中央区、社長:鈴木博正)とカルナバイオサイエンス株式会社(本社:兵庫県神戸市、社長:吉野公一郎)は、キナーゼに関するモノクローナル抗体、キナーゼ測定試薬及びプロテインチップを共同開発することで合意し契約を締結いたしました。

本契約に基づき富士レピオとカルナバイオサイエンスはキナーゼに対するモノクローナル抗体の開発とキナーゼ測定試薬への応用に関する共同開発に着手するとともに、特異性の高い抗リン酸化抗体の開発も両社共同で実施する予定です。

また、今後富士レピオはカルナバイオサイエンスに対する研究費の支援のための出資契約を締結する予定です。

キナーゼは、細胞内の情報伝達において主要な役割を担っている重要なタンパク質であり、様々な研究者や製薬会社が研究対象として注目しています。すでに500種類以上のキナーゼの存在が報告されていますが、今回の両社の共同開発により、これらのキナーゼの網羅的な解析が可能になるものと期待されます。

また、研究用試薬及び体外診断薬としての事業化に関する権利は富士レピオが独占的に保有し、抗体医薬等の医薬品用途での事業化についてはカルナバイオサイエンスが優先権を保有しています。

【富士レビオの概要】

- 1) 商号 富士レビオ株式会社
FUJIREBIO INC.
- 2) 設立年月日 1950年(昭和25年)12月
- 3) 所在地 〒103-0007 東京都中央区日本橋浜町2-62-5
- 4) 代表者氏名 代表取締役 鈴木博正
- 5) 資本金 45億6,632万円(9月末現在)
- 6) 事業内容 臨床検査薬、医療機器及び器具の製造、販売、輸出入

【カルナバイオサイエンス社の概要】

- 1) 商号 カルナバイオサイエンス株式会社
Carna Biosciences, Inc.
- 2) 設立年月日 2003年(平成15年)4月10日
- 3) 所在地 〒650-0047 兵庫県神戸市中央区港島南町5丁目5番2号
神戸国際ビジネスセンター 511
- 4) 代表者氏名 代表取締役 吉野 公一郎
- 5) 資本金 2億6,920万円
- 6) 事業内容 アッセイ構築、プロファイリング、タンパク質キナーゼ販売、
創薬ターゲット探索、創薬事業

以上

プロテインキナーゼ:

キナーゼ(リン酸化酵素)は、ヒトゲノムの約2%を構成し、最も基本的な細胞と細胞間の情報伝達メカニズムを司っています。キナーゼの活動が不安定な状態になると、いろいろな病気の状態に、とりわけ増加する反応による炎症(がん等)に関与していると見られています。

シグナル制御:

細胞内・間の情報伝達メカニズムの制御です。キナーゼの活動が不安定になることにより、異常なシグナルが発生し、細胞の増加等につながり病気の状態になると考えられていることから、このシグナルを制御する薬の開発が注目されています。

この発表は、重工業記者クラブ、兜町倶楽部、本町記者会、神戸経済記者クラブにおいてなされました。